

【平成19年度実績報告】奈良市地球温暖化対策庁内実行計画

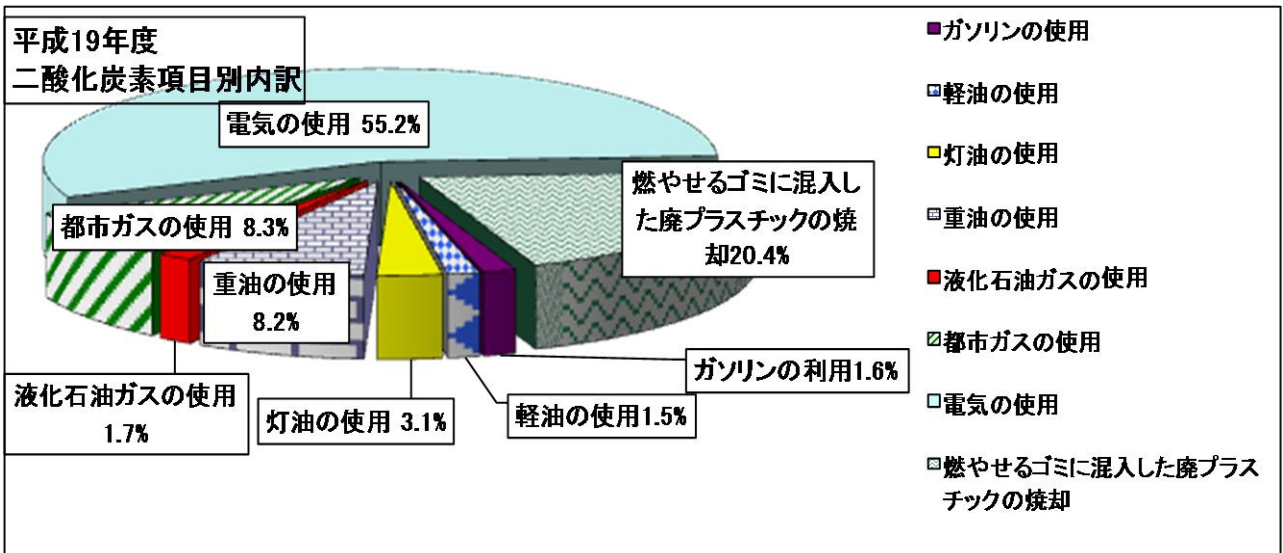
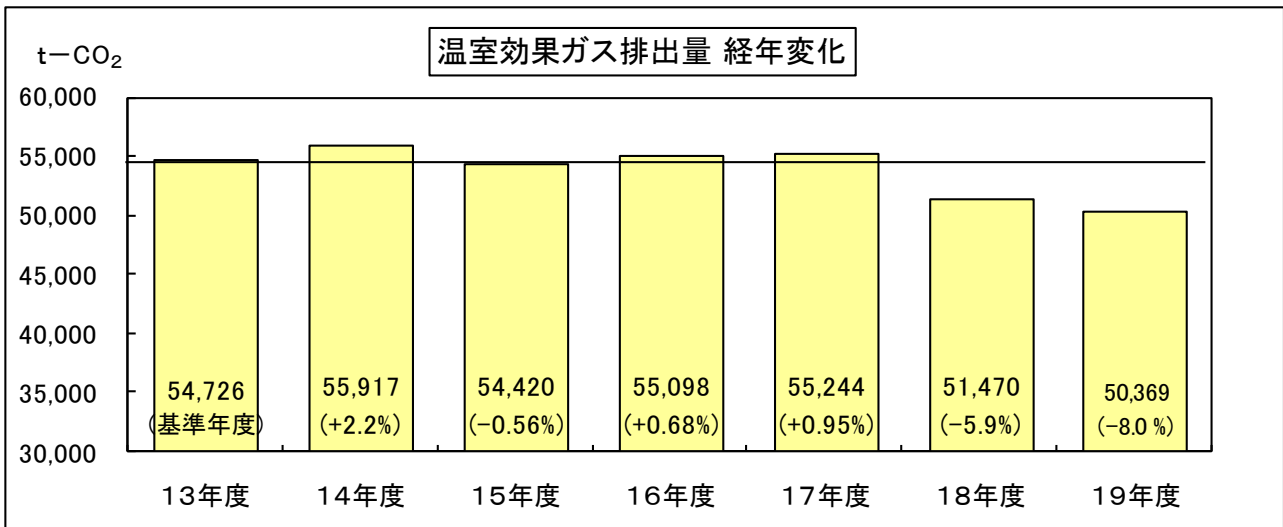
1 全体目標と実績

目標

平成19年度までに、本市の事務及び事業における温室効果ガスの総排出量を平成13年度を基準として、4.8%削減するよう努めます。

実績

平成19年度の温室効果ガス排出量は、50,369 t-CO₂で、平成13年度と比較すると、8.0%の削減(4,357 t-CO₂)で、目標を達成しました。



2 個別目標と実績

(1) 低公害車等の導入

目標

公用車への低公害車等の導入については、平成19年度までに保有する公用車のうち低公害車等の割合を概ね6%に増車するよう努めます。

実績

平成19年度は847台の公用車を保有しており、このうち低公害車等の導入台数は80台で、割合は9.4%です。

(2) 公用車における燃料使用量の削減

目標

公用車における燃料の使用量は、平成13年度比で、平成19年度までにガソリン・軽油をそれぞれ概ね5%削減するよう努めます。

実績

平成13年度と比較して、ガソリンでは12.9% (90 t - CO₂) 増加し、軽油では47.9% (690 t - CO₂) 削減しました。

しかし、低公害車等の導入による燃料の多様化で、液化石油ガス (LPG) を407 t - CO₂、圧縮天然ガス (CNG) を342 t - CO₂ 使用しました。

全体では、7.0% (149 t - CO₂) 増加しました。

(3) 電気使用量の削減

目標

電気使用量を平成13年度比で、平成19年度までに概ね3%削減するよう努めます。

実績

7.5% (2,213 t - CO₂) 削減しました。

(4) ガス・石油使用量の削減

目標

ガス・石油の使用量を平成13年度比で、平成19年度までに概ね3%削減するよう努めます。

実績

灯油は、72.3% (638 t - CO₂) 増加しました。

重油は、19.1% (642 t - CO₂) 増加しました。

液化石油ガス (LPG) は、91.6% (197 t - CO₂) 増加しました。

都市ガスは、17.0% (767 t - CO₂) 削減しました。

全体では、7.9% (710 t - CO₂) 増加しました。

(5) 上水道の適量使用

目標

上水使用量を平成13年度比で、平成19年度までに概ね3%削減するよう努めます。

実績

32.5% (493,548 m³) 削減しました。

(6) 用紙類の使用量の削減

目標

用紙類の使用量について、平成13年度比で、平成19年度までにコピー用紙を概ね5%削減するよう努めます。

実績

用紙購入枚数は、24.5% (7,251,407枚) 増加しました (平成15年度比)。

コピー機使用枚数は、7.5% (1,150,387枚) 削減しました。

(7) ゴミの発生抑制

目標

ゴミの発生量を平成19年度までに5%減量します。

実績

10.6% (11,623 t) 減量しました。

3 基準年度（平成13年度）後の新たな温室効果ガス増加要因

基準年度後の新たな温室効果ガスの増加要因として、行政組織の拡大があげられます。本市は、平成14年度の中核市への移行や平成17年度の市町村合併など行政組織が大きくなっています。また、施設の新設も温室効果ガス排出量を押し上げる要因となっています。

これらの要因から排出される温室効果ガスを集計すると、4,854t-CO₂ありました。このことを考慮し、基準年度の行政組織と比較すると、率で16.8%、量で9,211t-CO₂を削減したことになります。

4 今後の取り組みについて

平成19年度末で「奈良市地球温暖化対策庁内実行計画」の期間終了にあたり、今までの取り組みの実績を踏まえて、平成20年度からの新たな取り組み姿勢を示す「奈良市地球温暖化対策庁内実行計画（第2次）」に基づき、引き続き日頃の身近なところから率先して環境に配慮した取り組みを行いたいと考えております。

【スローガン】

- 「もったいない」の心をもとう
- 1人1日1kg CO₂を削減しよう

【重点取り組み事項】

- ① 買い換えに当たっては、省エネルギー型機器の優先的な導入を図ります。
- ② 公用自転車及び公用電動自転車の積極的な活用を図ります。
- ③ 駐停車時の不要なアイドリングを停止します。
- ④ 「ふんわりアクセルeスタート」やさしい発進を心がけます。
- ⑤ 印刷・コピー時の両面印刷を徹底します。
- ⑥ 文書及び資料は、極力共有化し、回覧・掲示板を活用します。
- ⑦ ゴミの分別を徹底します。